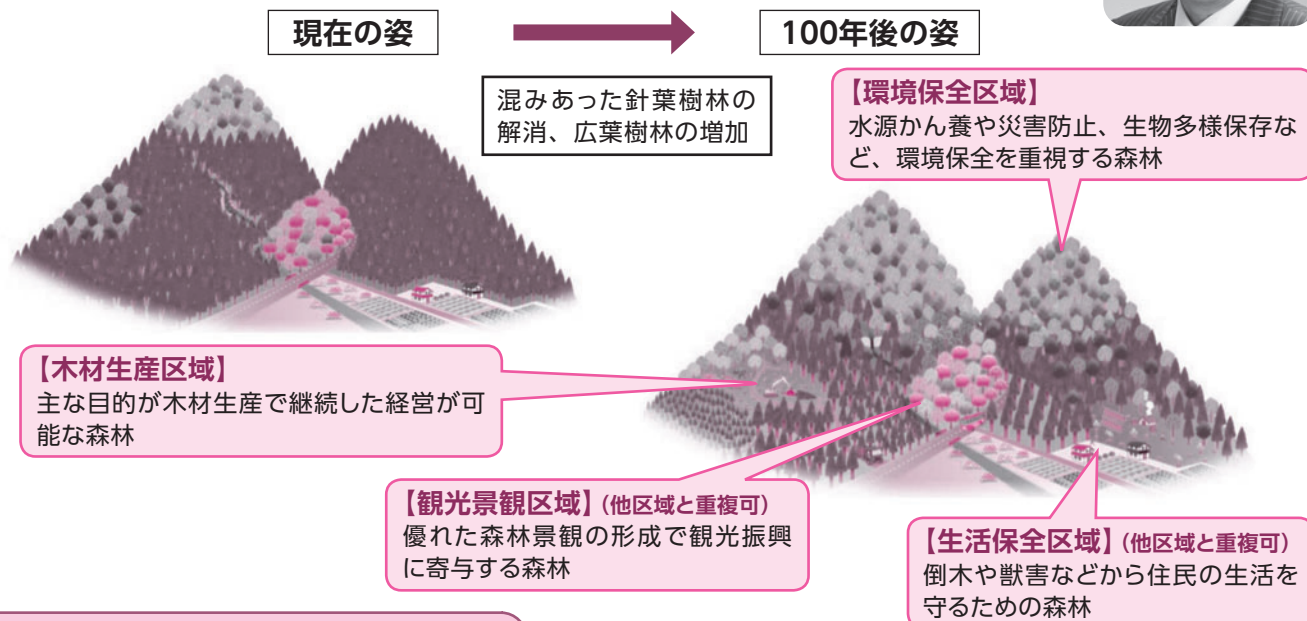


「100年先の森林づくり」を始めています！



市は、新たに100年先を見据えた森林づくりを進めるため、市内の民有林12万ヘクタールを4つの森林区域に分けるとともに、望ましい森林の姿に向けた位置付けの明確化および適正な管理に取り組めます。下図は、100年後の姿のイメージです。目的に応じた森林整備を進めます。



100年先の森林づくりへの取り組み

1. 木材生産区域の整備

- 森林経営計画に基づき、主伐と再造林を促進し、効率的な木材生産を行いながら、森林を適正に管理するための支援を行う。
- 広葉樹の活用に向け、地域産業との連携を図り必要な支援を行う。

2. 木材生産区域の拡大

- 森林所有者へ意向確認を行うため、所有者情報や森林境界、現況データの整理を行う。
- 所有者に対し、自ら森林を経営管理するための支援・働きかけを行う。

3. 環境保全区域の整備

- 保安林整備など、国や県による森林整備の働きかけを行う。
- 環境保全を重視した森林整備が必要な箇所について、森林所有者へ働きかけを行う。
- 針葉樹の人工林を間伐し、広葉樹と入り混じった森林にする。

4. 木材の利用拡大

5. 担い手の育成・確保

100年先の森林づくりの話聞いてみませんか？

「飛騨地域の森林を考えるシンポジウム」を開催します。森づくりや木材利用、木育などについてご紹介します。

日時 11月30日(土)

13:30～16:30

場所 市民文化会館(昭和町1)

※参加無料、申込不要。

(問合せ) 林務課 ☎35-3541

誰にもやさしいまちづくり認定制度

(問合せ) 企画課 ☎35-3131

市では、ユニバーサルデザイン(※)に配慮して整備された施設やサービスを提供する事業所を「誰にもやさしいまちづくり条例」に基づいて認定しています。

今回はハード部門(施設整備)で新たに5施設を認定し、認定証を交付しました。

今回の認定により、ハード部門は64件、ソフト部門は6件となりました。

認定施設(認定事業者)

- ①高山南保育園(社会福祉法人 高山社会事業協会)
- ②小規模多機能ホームきりん国府(株式会社 ケアトピック)

- ③ファインシニアけやき(医療法人三継会)
- ④デイサービスセンターほのぼのオレンジ(特定非営利活動法人ほのぼの朝日ネットワーク)
- ⑤ぬくもり(有限会社まんてん)

※ユニバーサルデザインとは

障がいの有無、年齢、性別などに関わらず、さまざまな人が利用しやすいよう、あらかじめ都市や生活環境をデザインする考え方のことです。

認定者に交付する認定マーク→

